

9.2. 下関地域の再編方針

9.2.1. 再編のポイント



9.2.2. 再編前後の路線網



※表記されている路線以外については、この度の再編実施計画では、路線の変更等の予定はありません。

【内日・員光方面】
<Step.2>
 ● 利用が低迷しており、運行効率化のため、新下関駅周辺を拠点とする枝線路線として再編し、定時性確保を図る。
<Step.3>
 ● 車両の小型化や、交通不便地域(王司観音団地等)への乗入れを検討する。

【北浦方面】
<Step.1>
 ● 利用実態に応じた運行の効率化を図る。
<Step.4>
 ● 長期的には利用実態に応じた路線の見直し等を検討する。

【新下関西部循環線(仮称)】
<Step.2>
 ● 新下関-幡生駅系統および松風町循環線を再編し、新下関駅を拠点として生活利便施設間を連絡する循環路線を新設。

【新椋野・新熊野方面】
<Step.3~Step.4> 段階的に実施
 ● 既存系統などを見直し、新椋野・新熊野方面の生活利便施設を経由して下関駅と新下関駅を連絡する系統の新設を検討。

【丸山町・東駅方面】
<Step.4>
 ● 新総合体育館の整備に合わせ、下関駅から丸山町、市民病院方面への利便性の向上策を検討。

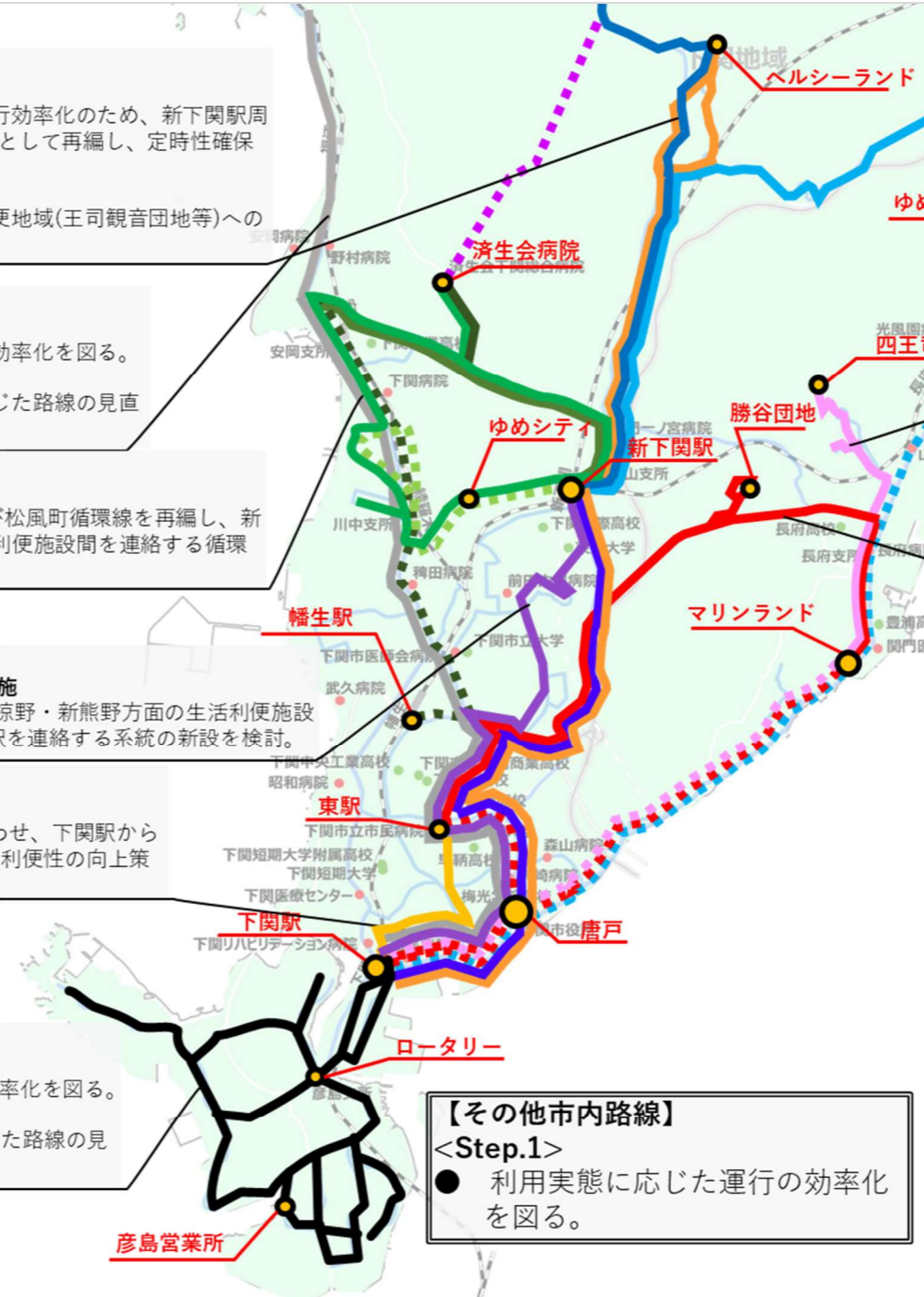
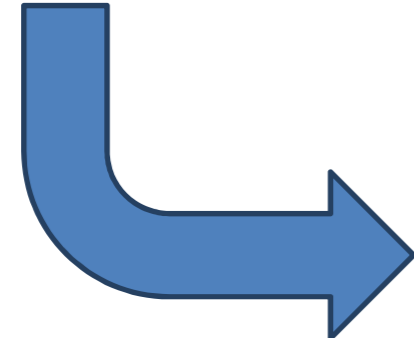
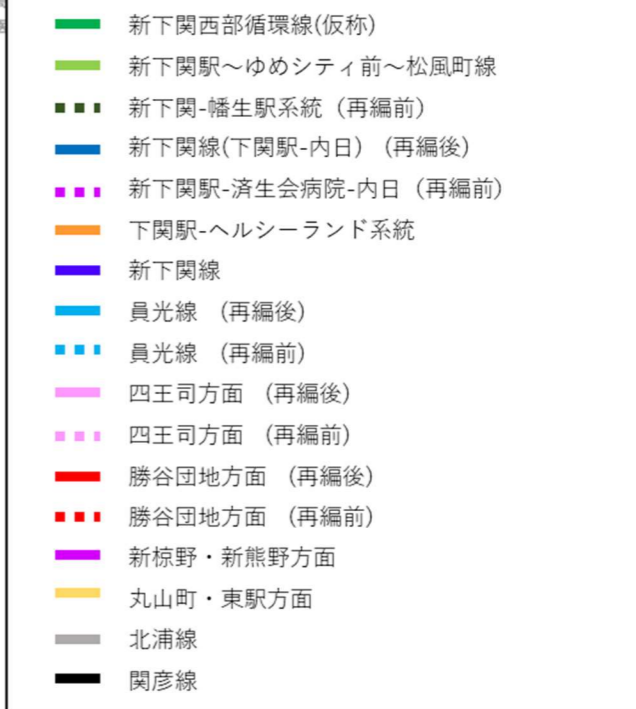
【彦島方面】
<Step.1>
 ● 利用実態に応じた運行の効率化を図る。
<Step.4>
 ● 長期的には利用実態に応じた路線の見直し等を検討する。

【その他市内路線】
<Step.1>
 ● 利用実態に応じた運行の効率化を図る。

【小月～吉田・湯谷方面】
<Step.4>
 ● 利用実態に応じて車両の小型化や循環型運行による利便性向上・運行効率化を検討する。

【四王司方面】
<Step.2>
 ● 利用が低迷しており、小型バス限定でもあることから、運行効率化のため、マリランドを中心とする枝線路線として再編し、定時性確保を図る。

【勝谷団地方面】
<Step.2>
 ● 利用が低迷しており、運行効率化のため、勝谷団地を中心に、マリランドと東駅を結ぶ路線として再編し、定時性確保を図る。
<Step.3>
 ● 車両の小型化により、交通不便地域(住吉神社エリア)への乗入れを検討する。



9.2.3. 路線別の再編内容

(1) 新下関西部循環線

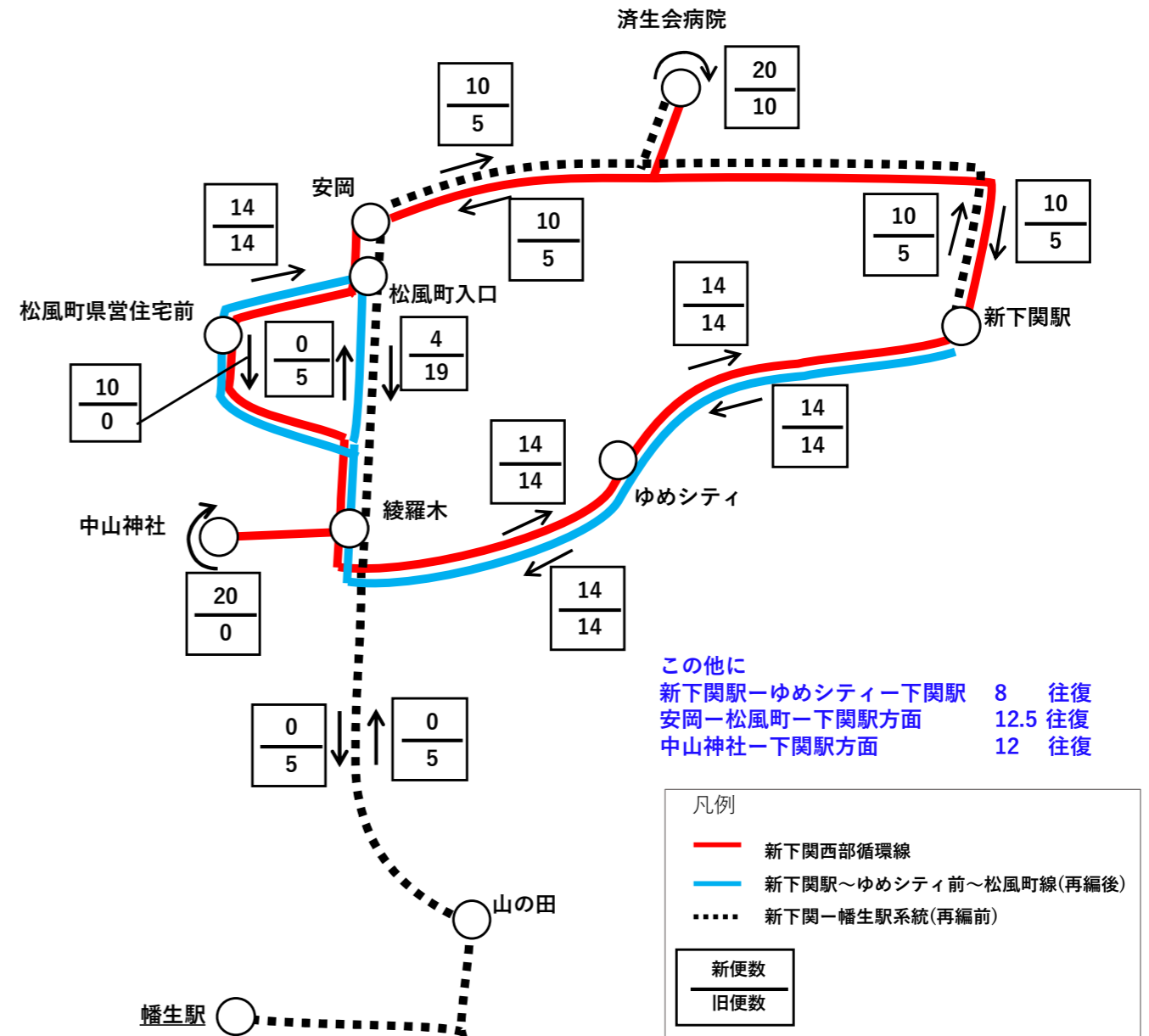
<Step. 2>

運行の目的	新下関－幡生駅系統および新下関駅～ゆめシティ～松風町線を、新下関駅を拠点とした、駅西部エリアを周遊する循環型路線として再編する。ゆめシティ、済生会病院をはじめとする駅西部エリアの生活利便施設間を連絡することで、安岡、綾羅木、新下関駅間の移動ニーズに対応し、利便性向上と運行効率化を図る。また、安岡支所の移転先への乗り入れを検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
	起点	終点		再編前	再編後
新下関西部循環線 (右回り)	起点	新下関駅	16.0	/	10.0 循環程度
	主な経由地	済生会病院、安岡、中山神社、ゆめシティ			
	終点	新下関駅			
新下関西部循環線 (左回り)	起点	新下関駅	16.0	/	10.0 循環程度
	主な経由地	済生会病院、安岡、中山神社、ゆめシティ			
	終点	新下関駅			
新下関駅～ゆめシティ前～松風町線	起点	新下関駅	8.5	14 往復	4.0 往復程度
	主な経由地	綾羅木、ゆめシティ			
	終点	松風町入口			
新下関－幡生駅	起点	新下関駅	14.9	5.0 往復	/
	主な経由地				
	終点	幡生駅			

<Step. 2>運行回数

各区間における運行回数は以下のとおりとなる予定です。



(2) 内日・員光方面

<Step. 2>

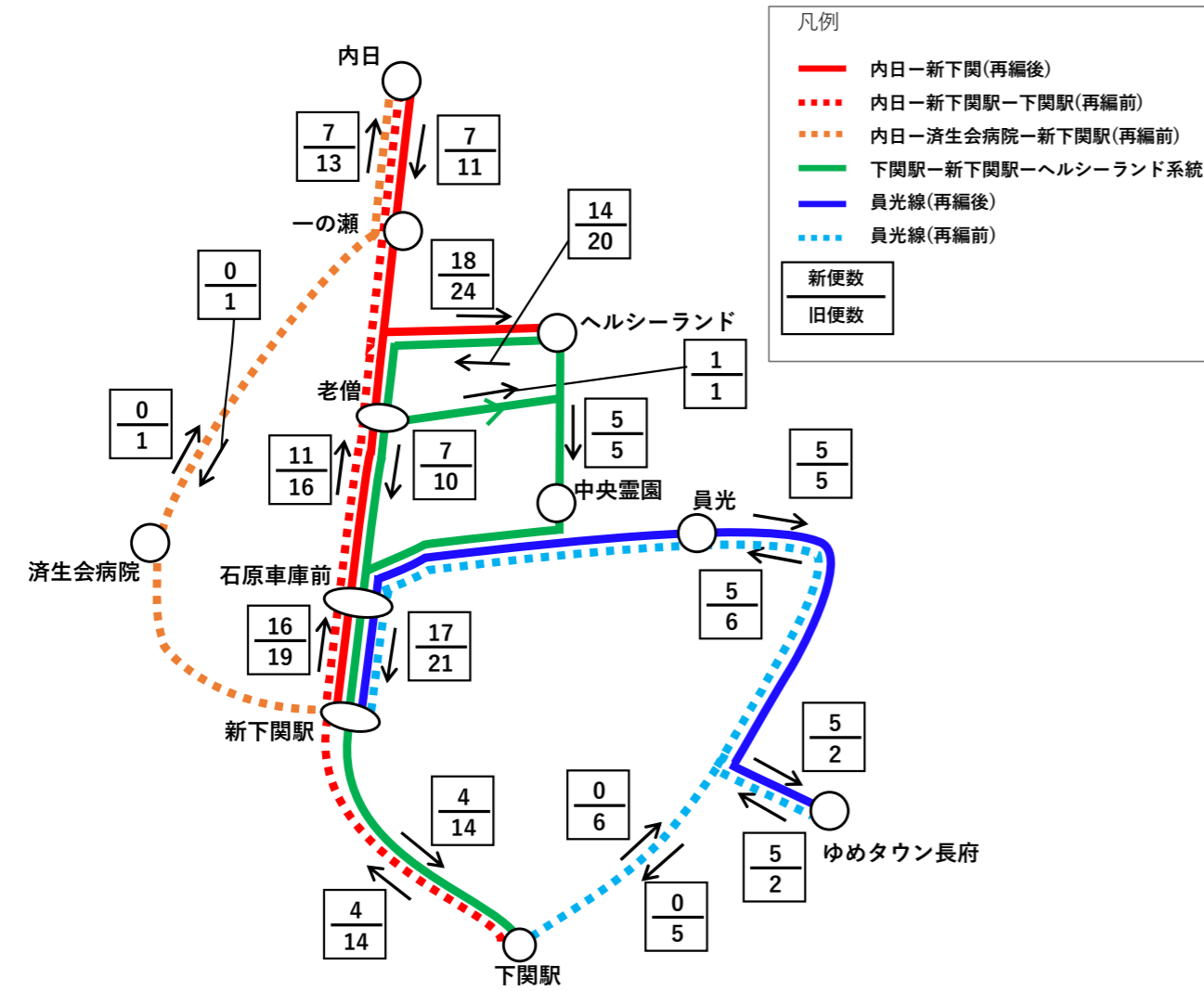
運行の目的	利用が低迷する新下関駅～内日間、員光線(新下関駅—員光—国道方面)の運行効率化のため、新下関駅を拠点とする枝線路線として再編を検討。現状の利用状況から、路線・系統ダイヤを見直し、定時性の確保を図ることで、持続可能な路線への転換を図る。また、新下関駅での循環線への接続を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
新系統①	起点	新下関駅	13.4	/	7.0 往復程度
	主な経由地	老僧、ヘルシーランド			
	終点	内日			
新系統②	起点	新下関駅	13.4	/	5.0 往復程度
	主な経由地	員光			
	終点	ゆめタウン長府			
新系統③	起点	老僧	6.5	/	0.5 往復程度
	主な経由地	中央霊園			
	終点	新下関駅			
新系統④	起点	下関駅	行：24.4 帰：24.7	/	4.0 循環程度
	主な経由地	新下関駅、老僧、ヘルシーランド、中央霊園			
	終点	下関駅			

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
旧系統①	起点	内日	10.9	1.0 往復	/
	主な経由地				
	終点	石原車庫前			
旧系統②	起点	内日	往：24.7 復：22.2	10.0 往復	/
	主な経由地	ヘルシーランド			
	終点	下関駅方面			
旧系統③	起点	老僧	18.7	0.5 往復	/
	主な経由地	新下関駅			
	終点	下関駅			
旧系統④	起点	下関駅	行：24.4 帰：24.7	4.0 循環	/
	主な経由地	ヘルシーランド			
	終点	下関駅			
旧系統⑤	起点	内日	15.2	1.0 往復	/
	主な経由地	済生会病院			
	終点	新下関駅			
旧系統⑥	起点	新下関駅	A：25.4 B：27.0	5.5 往復	/
	主な経由地	員光、ゆめタウン長府			
	終点	下関駅			

<Step. 2> 運行回数

各区間における運行回数は以下のとおりとなる予定です。



<Step. 3>

運行の目的	車両の小型化により、交通不便地域(王司観音団地等)への乗入れを検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	小型バス等

(3) 四王司方面

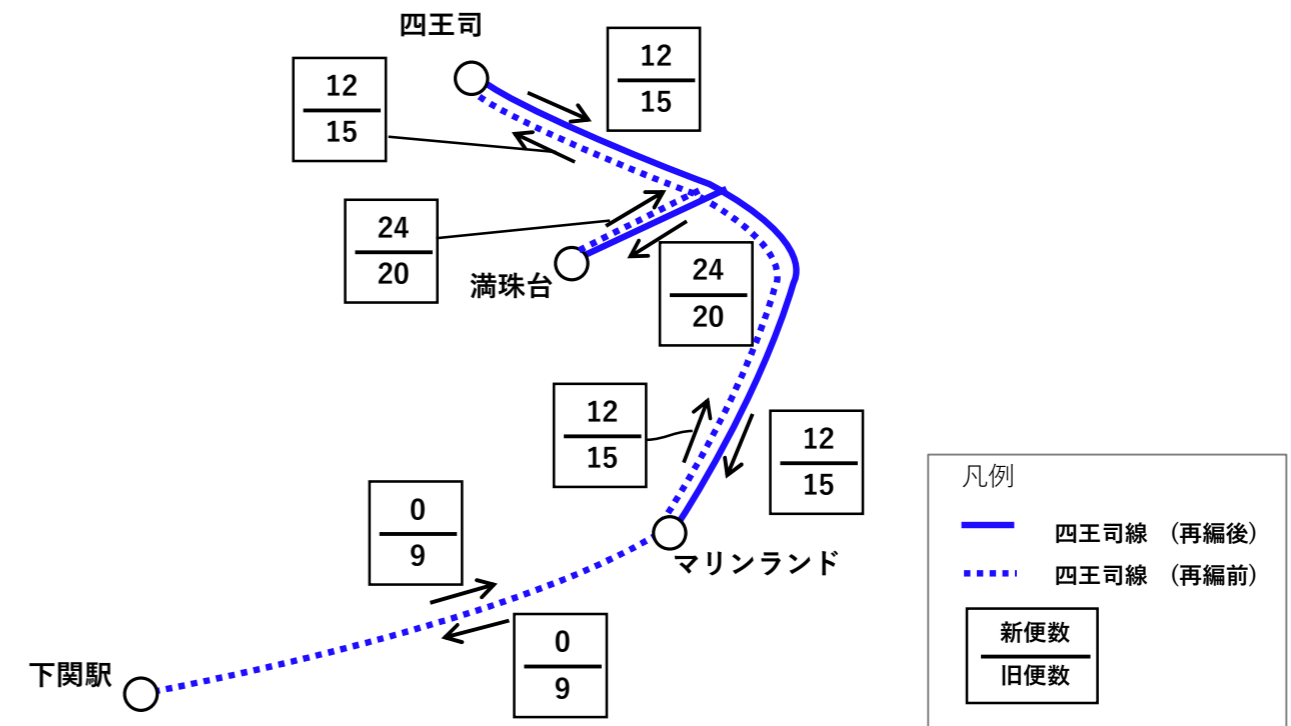
<Step. 2>

運行の目的	利用が低迷する四王司線の運行効率化のため、四王司とマリナランドをつなぐ城下町長府中心の枝線路線として再編する。現状の利用状況から、系統・ダイヤを見直し、定時性確保を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	小型バス
運行日	毎日運行

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
				再編前	再編後
新系統	起点	四王司	5.3	/	12.0 往復程度
	主な経由地				
	終点	マリナランド			
旧系統①	起点	四王司	4.3	6.0 往復	/
	主な経由地				
	終点	マリナランド			
旧系統②	起点	四王司	12.1	9.0 往復	/
	主な経由地		13.1		
	終点	下関駅			

<Step. 2>運行回数

各区間における運行回数は以下のとおりとなる予定です。



(4) 勝谷団地線

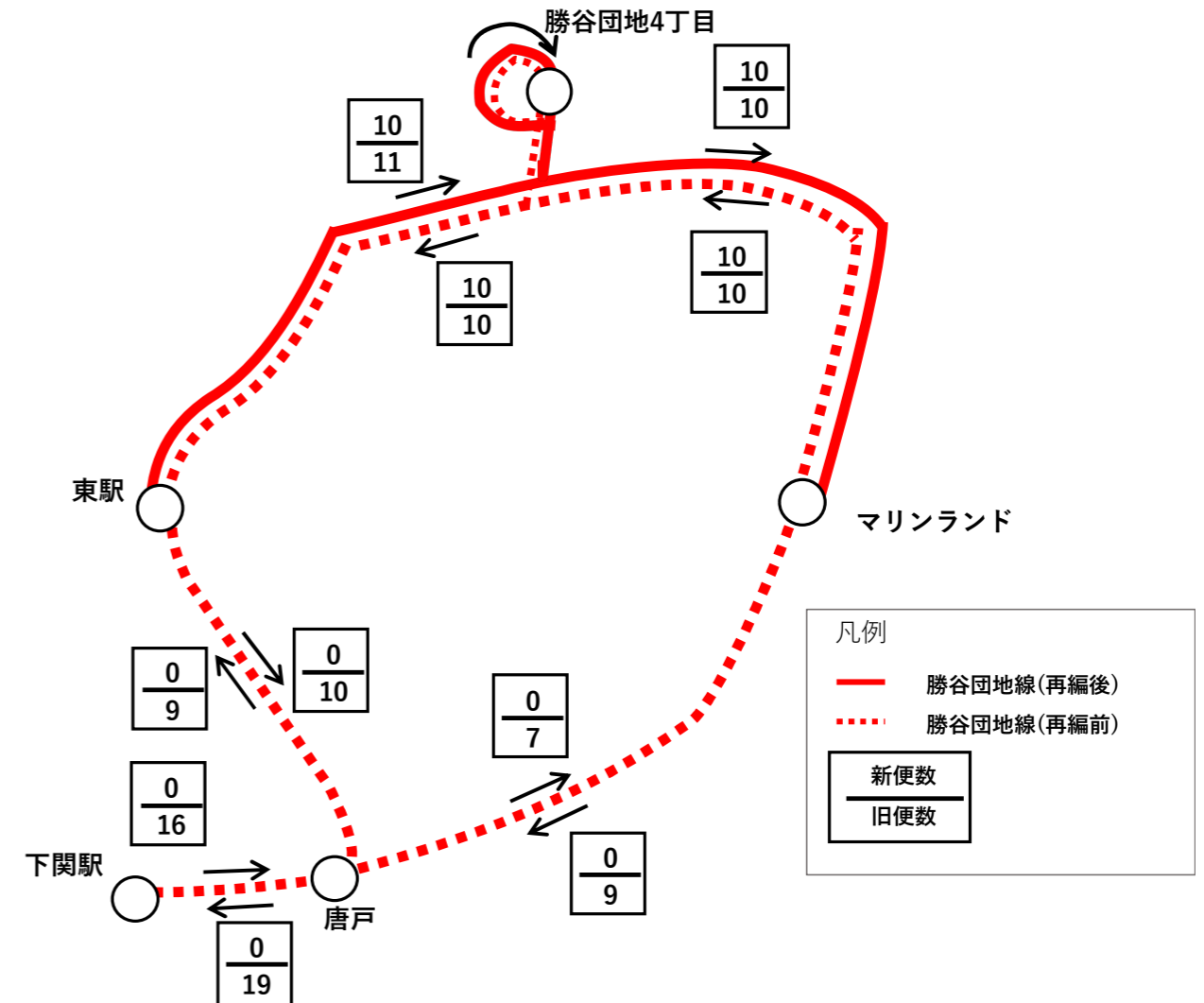
<Step. 2>

運行の目的	利用が低迷する勝谷団地線の運行効率化のため、勝谷団地を中心として、マリ ンランドと東駅を往復する路線として再編する。現状の利用状況から、系統・ ダイヤを見直し、定時性確保を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

系統	運行区間		系統キロ	運行回数	
	起点	終点		再編前	再編後
新系統	起点	マリ ンランド	12.8	0.5 往復	10.0 往復 程度
	主な経由地	勝谷団地			
	終点	東駅			
旧系統①	起点	下関駅	25.0	15 循環	
	主な経由地	勝谷団地、東駅			
	終点	下関駅			
旧系統②	起点	マリ ンランド	17.2	1.5 往復	
	主な経由地	勝谷団地、東駅			
	終点	下関駅			
旧系統③	起点	勝谷団地	12.1	0.5 往復	
	主な経由地	東駅			
	終点	下関駅			
旧系統④	起点	東駅	20.6	0.5 往復	
	主な経由地	勝谷団地、マリ ンランド			
	終点	下関駅			

<Step. 2> 運行回数

各区間における運行回数は以下のとおりとなる予定です。



<Step. 3>

運行の目的	車両の小型化により、交通不便地域(住吉神社エリア)への乗入れを検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	小型バス等

(5) 北浦方面

<Step. 1>

運行の目的	利用実態に応じて順次運行の効率化を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

<Step. 4>

運行の目的	長期的には利用実態に応じた路線の見直し等による利便性向上・運行効率化を検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

(6) 彦島方面

<Step. 1>

運行の目的	利用実態に応じて順次運行の効率化を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

<Step. 4>

運行の目的	長期的には利用実態に応じた路線の見直し等による利便性向上・運行効率化を検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

(7) 新椋野・新熊野方面

<Step.3~Step.4> 段階的に実施

運行の目的	既存系統などを見直し、新椋野・新熊野の生活利便施設を經由して、下関駅と新下関駅を連絡する系統の新設を検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

(8) 丸山町・東駅方面

<Step. 4>

運行の目的	新総合体育館の整備に合わせ、下関駅から丸山町、市民病院方面への利便性の向上策を検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行

(9) 小月～吉田・湯谷方面

<Step. 4>

運行の目的	利用実態に応じて車両の小型化や循環型運行による利便性向上・運行効率化を検討する。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	小型バス等
運行日	毎日運行

(10) その他市内路線

<Step. 1>

運行の目的	利用実態に応じて順次運行の効率化を図る。
運行事業者	サンデン交通株式会社
事業の種類	一般乗合
運行の形態	路線定期運行
車両	大型バス
運行日	毎日運行